

## 第十一講 シュメール人の生活

### 農業経済

高度に発達した灌漑に依存



水路網の整備

条播器使用

1ikuにつき 12sila を播く

4回の灌漑

日本のように中耕除草作業はない

収穫 1ikuにつき 182sila<sub>3</sub>~913sila<sub>3</sub>

iku=3,600m<sup>2</sup>, sila<sub>3</sub>=1L=0.001m<sup>3</sup>

収穫量／播種量=15倍~76倍

単位面積当たりのシュメールと日本の麦生産量比：

1.67倍~8.36倍（中間値 4.58倍）

主要な作物

大麦 98%

エンマ麦 他

玉ねぎ・大蒜・胡瓜・レンズ豆・エンドウ豆

羊が主

羊毛・毛皮・肉・乳・チーズやバター

シュメールのことわざ

「家に住まう意地の悪い妻はあらゆる病よりも悪しきもの。

病んだ心が人を病気にする。

汝の運命を受け入れよ、さすれば汝の母は幸せとなる。

こそ泥となった後、人は仲間外れとなる。

生きている限り、嘘をついて悪事を増やすべきではない。

人は楽しみのために結婚をし、思案を重ねて離婚する。

幸運は準備と知恵を（必要とする）。

手に手を重ねれば、汝の家は建つ。胃袋に胃袋を重ねれば、汝の家は

壊される。

多くを食べるものは眠れない。

多くを持つものは警戒を怠らない。多くを得たものは絶えずみはらねばならない。  
宮廷には無知な輩が満ちている。  
好意を返すものには好意を返すものだ。  
生きているということは死よりもはるかにまし。  
好みのままに妻を娶り、心の欲するまま子供をもうけよ。  
私のガールフレンドの心は私のために作られたもの。  
はるか古より起こることのなかったもの。それは若い妻は夫に抱かれている時に屁  
をひることはなかったということ。」

## ビール

アッシリア地方は葡萄酒が主  
メソポタミア地方はビールが主  
16種類ものビール

### 居酒屋の繁栄

キシュ王朝の創始者は居酒屋のマダム  
犯罪者や無頼漢をかくまったとき・・・焚刑  
酒を水で薄めて販売したとき・・・溺殺  
人妻に酒を進めたとき・・・・・・・・溺殺

### 醸造法は不明

原料は大麥（シエ）とエンマ麦（シエ・ジズ・アン）  
黒ビール・褐色ビール・白ビール・強口ビール・甘口ビール  
ティダビール・ウサビール・・・発酵させたものではなく、麦芽  
汁のエキス、薄めて発酵又は温めて甘味料や医  
薬品として使用

## 食生活

大麥・小麦・エンマ麦・粟など  
ゴマ（油の木）  
パンやオートミールで食べる  
魚が重要なタンパク源  
50種類の魚の名前  
鮮魚・塩魚・干し魚・目刺し  
生簀の使用

「10本の指のある頭」＝烏賊

「10本の指のない頭」＝蛸

エビや油を取るための亀

野菜は香辛性のものが多い

玉葱・大蒜・韭・カラシ・ミズタガラシ・イノンド（セリ科の香草。カレーに使用される）・コリアンダー・キャベツ・胡瓜など

果物

無花果・柘榴・梨・林檎・葡萄・棗椰子など

家畜

ロバ・牛・羊・豚・山羊など

食肉用は羊

天文学は占星術でもあった

惑星を観察・惑星の運行が人間社会に影響を及ぼす

アヌの道（赤道）・エンリルの道（北回帰線）・エアの道（南回帰線）

惑星の近日点の距離も正確の計算

医療

医者は病気の治療をし、呪術師は診察をする

医者はアスー、呪術師はアーシブ

医学のテキスト

「もし人が病気に掛かり、その症状が次のようであれば・・・」

あるいは

「もし人がどこの部分に痛みを感じるならば」

というような問答式

症状→薬の名前と処方→使用法→「その病人は良くなるだろう」

テキストに従った機械的な治療

医薬品は薬草が中心・・・薬草の根や茎、葉、実などをそのまま

使用したり、磨り潰したり、煎じたり乾燥させたりして使用

ビールや酢、蜂蜜、脂などと溶いて、飲み薬や座薬として使用

呪術師

呪いを施す

病状を観察、体温を調べ、脈拍を数える

呪術と知恵の神エンキに対して悪霊退散を呼びかける

## 神と悪魔

最高神はエンリル神→マルドゥク神→アッシュール神

日常では悪魔に祈る

至るところに悪魔は潜む

出産したばかりの妊産婦や出産前の妊婦がよく襲われる

ラマシュトゥ（メスの悪魔）

頭がライオンで、両手に蛇を握り、馬上に立って、犬が両方の乳房にぶら下がっている

新生児を盗む

魔除けとして巨大なライオン像や雄牛の像